

医療費水準地域差要因分析等事業について

岐阜県国保運営方針 第5章 1 (1) 抜粋

- ・ 県は、KDBシステム及びNDBシステムを活用し、医療費水準の地域差に関する要因分析（見える化）を進めます。
- ・ その上で、岐阜県国民健康保険団体連合会と連携して、各市町村における効果的・効率的な取組について技術的助言を行います。

1 目 的

- 市町村ごとに医療（後期含む）、健康診査、介護に関するデータを活用し分析を行い、県内の医療費水準の地域差の要因の「見える化」を図る。
- そのうえで、県国民健康保険団体連合会と連携して、各市町村における効果的・効率的な取組について技術的助言を行う。
- 事業は、平成30年度～令和元年度の2か年で国保連に委託して実施。
令和2年度以降はフォローアップ事業として国保連に委託して実施

2 可視化ツールのデータ更新

- 令和4年度の医療、健康診査及び介護に関するデータを追加し、可視化ツールのデータ更新（分析）を医療経済研究・社会保険福祉協会医療経済研究機構及び東京大学の協力を得て実施。

3 分析結果の提供・周知

- 得られた分析結果の一部について、市町村等が保健事業等に活用できるよう5圏域ごとに研修会及び意見交換会を開催。

(1) 開催日

開催日	対象保険者 (保健所管内市町村)	参加人数
令和5年11月30日(木)	飛騨	6名
令和5年12月4日(月)	岐阜	19名
令和5年12月5日(火)	関、可茂	21名
令和5年12月8日(金)	東濃、恵那	13名
令和5年12月13日(水)	西濃	24名

(2) 対象者

市町村（国保・衛生・介護）、介護保険広域連合、後期高齢者医療広域連合担当者

(3) 内 容

- ・「医療費水準地域差要因分析等フォローアップ事業の概要について」
：岐阜県健康福祉部国民健康保険課
- ・『岐阜ヘルスアップ（分析ツール）』の操作と活用方法の説明
：（一財）医療経済研究・社会保健福祉協会医療経済研究機構
副部長・上席研究員 満武 巨裕 氏
- ・「分析結果から見える地域の特徴の解説」
：岐阜県国民健康保険団体連合会 健康推進課
- ・「今後の地域差要因分析について」（意見交換）
：市町村等担当者との意見交換